

(2) 観光産業の振興

新型コロナウイルス感染症による渡航往来、来島自粛等の制限により令和2年度の観光入域者数は対前年度比50%減の大幅な落ち込みとなる見込みで、観光産業は多大な影響を受け、経営維持に苦慮し大変厳しい状況下にあります。

長期化するコロナ禍において、観光振興基本計画を基軸とした施策を実施しつつ、ウイズコロナ、アフターコロナ等に対応した施策の実施に取り組んでまいります。

久米島観光プロモーション事業として、ターゲットを明確にした戦略的なプロモーションのほか、アフターコロナの新たな誘客施策としてインバウンド誘客に取り組んでまいります。

ポトム期の誘客と本町の資源を活かした体験型プログラムを素材に誘客・受け入れを推進している教育旅行やMICE等の団体旅行施策により、観光入域の平準化・通年型観光の実現に取り組んでまいります。

休館中のバーデハウス久米島は、観光の中核施設であり、民間提案制度を活用し、健全で安定した管理・運営体制を整

え、早期の再開に取り組んでまいります。その他、観光関連施設の管理・運営については、指定管理者制度や外部委託等の手法を用いながら、適正かつ効果的な管理・運営に取り組んでまいります。

スポーツコンベンションの推進については、コロナ禍において実施が見送られた東北楽天ゴールデンイーグルス春季キャンプの再誘致に向けて取り組んでまいります。また、野球を中心としたアマチュアスポーツの合宿、大会誘致にも取り組んでまいります。

観光振興体制強化事業では、観光振興の担い手である久米島町観光協会組織強化の支援、地域おこし協力隊を活用したインバウンド体制の構築に取り組んでまいります。観光振興による地域経営に取り組んでいる久米島版DMO推進協議会への支援により、観光を核としたまちづくりや地域振興、経済活性化の推進に取り組んでまいります。

(3) 交通の確保

離島を結ぶ航路は、住民生活や交流人口の拡大、経済活動に欠くことのできないインフラとして大きな役割を果た

しています。

航空路、海上航路について、県と連携した「交通コスト負担軽減事業」等を継続的に実施して、町民負担の軽減、観光等の交流人口等の増加に努めてまいります。また、高速船については、関係機関と緊密に連携して導入を検討してまいります。

町民生活の重要な交通手段である路線バスについては、令和3年度より民間事業者への移管を予定しており、生活路線、観光客等の移動手段として利用者サービスの一層の向上を目指して取り組んでまいります。

教育・文化の充実

(1) 学校教育の充実

学校教育に求められるのは、

変動の激しい21世紀を力強く、逞しく生き抜く「生きる力」を全ての子ども達に育むことにあります。「生きる力」を育むとは、「知・徳・体」調和のとれた子どもの育成だと考えま

す。その中でも教育委員会では、本町教育の重要項目である『学力の向上』を基軸として、子ども達一人一人に確かな学

力を身に付ける取り組みを推進します。

本町では教育理念を『幼児児童生徒一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む』と島に誇りを持ち、心に夢を持てる幼児児童生徒の育成を掲げ、教育に取り組んでまいりました。これまで教師が授業改善に取り組んできた結果、本町の児童生徒の学力は着実に伸びてきており、ここ数年の全国学力・学習状況調査結果においては、小学校、中学校ともに教科総合ではほぼ全国並の結果を出しています。

今後も、この結果を維持し、さらなる向上を目指して引き続き授業改善に取り組んでいくとともに、将来に夢を持ち主体的に学べる児童生徒を育成できるように各学校の特色を生かした取り組みを支援してまいります。

また継続して、基礎学力向上学習支援員を各学校に配置し、学習への意欲を高め、基礎学力の定着を図ってまいります。特に中学校では学習習慣の定着と学習への興味関心を高めることを目的に、放課後自主学習の場「まなびや」を開設し、生徒の意識改善に取り組んでまいります。

さらに、デジタル教科書やタブレット等のICT機器を積極的かつ効果的に活用すること等で学習意欲及び学力の向上を図ります。併せて「GIGAスクール構想」を計画的に実施し、引き続き学力向上に資するICT利用環境の整備を進めてまいります。

教育活動の中では、人、自然、伝統文化等、地域の豊かな教育資源を活用することや、学校・家庭地域・産業界が連携したことにより、久米島の良さを知り、ふるさとに誇りと愛着を持つ子ども達の育成に努めてまいります。

学校施設の整備については、耐震診断結果を踏まえた耐震補強計画及び令和2年度に策定した学校施設等長寿命化計画を基に、安全な教育環境の充実に努めてまいります。

学校における働き方改革については、『久米島町教職員の働き方改革推進計画』を基に、夏休み期間中の学校閉庁日やリフレッシュウィークの設定及び校務支援システムの活用を推進することで勤務環境を整え教職員の業務負担の軽減に努めてまいります。

幼稚園においては、仲里、